

## カービュー マーケットウォッチ (2012年12月)

自動車総合サイト「carview.co.jp」を運営する株式会社カービュー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：大西 正義）は、社団法人 日本自動車販売協会連合会が公表する「月間登録台数ランキング」をもとに、日本国内における自動車マーケットの動きを独自分析する。

**乗用車全体で0.2%増ながら3か月ぶりに前年を上回る！**

12年 11月順位	12年 10月順位	動向	モデル名	メーカー名	台数
1	(1)	→	アクア	トヨタ	26,346
2	(2)	→	プリウス	トヨタ	22,039
3	(3)	→	ノート	日産	10,361
4	(4)	→	フィット	ホンダ	9,320
5	(6)	↑	カロラ	トヨタ	6,121
6	(7)	↑	ヴィッツ	トヨタ	5,889
7	(8)	↑	インプレッサ	スバル	5,637
8	(9)	↑	セレナ	日産	5,482
9	(5)	↓	スペイド	トヨタ	5,090
10	(10)	→	フリード	ホンダ	4,418
11	(11)	→	ポルテ	トヨタ	3,913
12	(12)	→	ステップワゴン	ホンダ	3,513
13	(13)	→	ヴェルファイア	トヨタ	3,245
14	(17)	↑	パッソ	トヨタ	3,167
15	(-)	↑	フォレスター	スバル	3,113
16	(20)	↑	ヴォクシー	トヨタ	3,070
17	(19)	↑	デミオ	マツダ	2,794
18	(22)	↑	エスティマ	トヨタ	2,640
19	(21)	↑	スイフト	スズキ	2,631
20	(15)	↓	ミラージュ	三菱	2,467

※ 社団法人 日本自動車販売協会連合会調べ

※ 輸入車および軽自動車を除く

## カービュー編集部独自の分析

■乗用車全体で0.2%増ながら3カ月ぶりに前年を上回る！

5ナンバー小型車、軽乗用車が8.4%増、7.8%増と牽引役に

今回は、日本自動車販売協会連合会（自販連）、全国軽自動車協会連合会（全軽自協）、日本自動車輸入組合（JAIA）が発表した11月の販売データからマーケット概況をチェックしていこう。まず輸入車、軽自動車を含め、国内で販売された乗用車総数は32万4423台、前年同月比100.2%（貨物車、バスを含む新車総販売数は39万3942台、前年同月比99.6%）と、わずかながら3カ月ぶりに前年を上回った。3ナンバーの普通車は10万706台、前年同月比13.7%減だったが、5ナンバーの小型車が11万3056台、同8.4%増、軽乗用車も11万661台、同7.8%増と好調だった。ここ2カ月、9月3.7%減、10月6.7%減とエコカー補助金終了による反動減に見舞われたが、今年同様に9月に新車購入補助金が終了した10年当時の前年同月比が9月3.2%減、10月25.9%減、11月29.8%減だったことを考えれば、その影響は軽微で、12月も昨年レベルの売れ行きが確保できれば、年間合計でリーマンショック前の07年を上回るはずだ。

輸入車と軽乗用車を除く3/5ナンバーの国産乗用車（日産マーチ1708台、日産ラティオ873台、三菱ミラージュ2467台含む）は19万3791台で、前年同月比は95.7%。メーカーブランド合計ではトヨタ、スバル、三菱以外は前年を下回り、特にホンダは1万9542台、前年同月比59.7%と落ち込み、1~11月累計で6000台弱、日産に抜かれてしまった。月間ランキングでは、「アクア」が2万6346台で2カ月連続トップ、軽乗用車を含めた乗用車全体でも2カ月連続トップとなった。2~4位は「トヨタ プリウス」、「日産 ノート」、「ホンダ フィット（シャトル含む）」で前月から変動なしだが、前年を上回っているのは175.9%増のノートだけだ。

前年同月比の伸び率では5637台で402.9%増とダントツの「スバル インプレッサ（スポーツ、G4、XV、WRXの合計）」も要注目。昨年の倍以上の売れ行きをキープしているスポーツ、G4に加え、9月に投入された「XV」が好調で、順位も「トヨタ カローラ／ヴィッツ」に次いで、7位にランクアップした。

軽自動車は貨物車を含めた全体でも14万9968台、前年同月比104.6%と14カ月連続のプラス。車名別では「ホンダ N BOX（+含む）」が1万6406台で2カ月連続トップ。2~4位は「ダイハツ ミラ（イース、ココア含む）」1万4764台、「スズキ ワゴンR」1万4368台、「ダイハツ タント」1万2332台で、5位に「ホンダ N-ONE」が9674台でランクインした。

輸入乗用車は海外メーカー製のみでは1万9572台、前年同月比は110.6%（日本メーカー製を含む輸入乗用車全体では2万5019台、同115.4%）で7カ月連続で前年を上回った。海外メーカーブランド別乗用車ランキングではVW（フォルクスワーゲン）が前年を下回ったものの4584台で2カ月連続トップ。2位はBMW（ミニを除く）で3377台、3位はメルセデス・ベンツで3095台だった。上位陣では4位アウディの26.3%増が伸び率トップで、12位シトロエンまで、前年同月比プラスと好調だ。

## ■ココも気になる！ その1

### 販売シェア 38.1%を記録した軽が年間 200 万台に迫る

不安視されていたエコカー補助金終了による反動減が 10 年当時より軽微だったことで、年間の新車販売総数がここ 10 年で 5 番目の 535 万 3581 台だった 07 年を上回る見通しになった。もちろん 8 月までの貯金も大きかったが、すでに年間記録の 31 万 5669 台に迫る 30 万 1102 台まで積み上げた「トヨタ プリウス (α含む)」や 24 万 6170 台の「トヨタ アクア」など、ハイブリッド車 (HV) の好調な売れ行きも要因の一つ。HV は 11 月単月で軽を除く乗用車に占める販売比率が 30.9%まで上昇した。

もう一つ注目なのが軽の好調さだ。11 月まで 14 カ月連続で前年を上回り、新車販売に占める軽比率も 10 月 37.2%、11 月 38.1%と上昇基調。乗用車部門に限っても、ダイハツ、スズキの 2 強が 1~11 月累計で 51 万 4912 台／前年同期比 32.6%増、41 万 6705 台／同 25.8%増と堅調なのに加え、ホンダが 26 万 4876 台、同 195.2%増と大伸張。

「N BOX (+含む)」が 4~9 月の 12 年度上半期で 11 万 8431 台と初の期間トップとなったのをはじめ、11 月に投入した「N-ONE」も発売後約 1 カ月で月間販売目標 1 万台のところ、2 万 5000 台超の受注を獲得と勢いに乗っているのだ。これでホンダは、昨年年間 3 位だった日産に 14 万 7494 台の大差をつけ、3 位の座を奪還。また伸び率ではトヨタも拡大傾向で、11 月時点で 3 万 549 台、前年同期比 641.5%増となった。

貨物車を含めた軽全体では 1~11 月累計で 185 万 5373 台と、06 年に初めて突破した 200 万台に迫る勢い。昨年の 12 月実績は 12 万 7245 台だから、今年の 200 万台突破は難しいかもしれないが、すでに事前告知が始まった「ダイハツ ムーヴ」のマイナーチェンジや、年明け早々にデビュー予定の「スズキ パレット」、さらに日産と三菱の合併会社初の新型車などニューモデルが目白押し。となれば、来年は 200 万台突破はもちろん、06 年の年間記録 202 万 3619 台更新も果たせるかもしれない。

## ■ココも気になる！ その2

### 世界市場で好調の BMW が最後の追い込みにかける

海外メーカー製輸入乗用車は96年の31万1279台をピークに下降線をたどり、リーマンショックに見舞われた08年に15年ぶりに20万台を割り込み、09年には15万9143台まで落ち込んでしまった。しかし10年以降、新車購入補助金やエコカー減税などの支援策に適合した“日本仕様”を積極的に投入。昨年は東日本大震災の影響で国産車が苦戦するなか、13.1%増の20万3800台まで復調した。今年も1~11月累計で21万2248台、前年同期17.2%増と堅調な売れ行きとなっている。

そのなかで注目なのがメルセデス・ベンツとBMWの輸入車ブランドNo.2争いだ。昨年まで3年連続でBMWが年間2位の座を確保していたが、今年は「Cクラス」の好調な売れ行きに支えられたメルセデスに後塵を拝し、11月時点で526台差の3位となっている。ただ9月にメルセデスが2年ぶりに月間トップとなった以降、BMWが急追。今年1月にフルモデルチェンジした「3シリーズ」が日本カー・オブ・ザ・イヤーのインポート・カー・オブ・ザ・イヤーと、RJCカーオブザイヤーのRJCカーオブザイヤー・インポートをダブル受賞したこともあり、12月の逆転なるかが注目される。

BMWは世界市場でも好調で、11月は前年同月比26.4%増の14万5000台超で、ミニ、ロールスロイスを含めたグループ全体では17万台超と、11月としては過去最高を記録。1~11月累計ではグループ全体で前年同期比10.1%増の166万4000台超となり、今年目標としていた前年比プラス(昨年は年間166万9000台弱で過去最高だった)を確実なものとしている。

ニュー3シリーズをはじめ、「X1」や「6シリーズ・グランクーペ」、「7シリーズ」のフルモデルチェンジといった新車攻勢に加え、ハイブリッドやクリーンディーゼル、EVの展開など環境対策車にも積極的なBMWだけに、今後も目が離せないブランドといえそうだ。

上記プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社カービュー 総務部 広報チーム ( [pr@carview.co.jp](mailto:pr@carview.co.jp) )

tel : 03-5859-6158 fax : 03-5859-6180

---